

有年小だより

【校訓】ほがらか はつらつ すこやか



こまどり

赤穂市立有年小学校

〒678-1186

赤穂市西有年2853番地

TEL 0791-49-2081

発行者 江尻裕亮



令和2年度が始まりました ご入学・ご進級おめでとうございます

美しいふるさと有年にうらかな春がやってきました。

4月6日には離任式、着任式、始業式を行い、本日、入学式を行いました。おうちの方に手を引かれ、10名の新1年生が元気に校門をくぐりました。

令和2年度の本校は、児童48名、学級数6学級、教職員14名でスタートいたします。

私たち教職員一同は「認める言葉・ほめる言葉があふれる学校」を合言葉に、ご家庭や地域の皆様方と一体となって子ども達を全力で支援してまいります。

教職員の紹介

校長	江尻裕亮
教頭	田中豊史
1年	耳田由美子
2年	小垣内大佑
3年	木村将揮
4年	前田雄哉
5年	長崎ひな
6年	宗清栄治
談・藝	平岡育穂
英語	上山聡美
養護	安達凌太郎
事務	大田祐子
用務	西山久美子
用務	竹本一恵
(非常勤)	松原和子
(非常勤)	名村浩
(非常勤)	中野淳

異動のお知らせ

【お世話になりました】

主幹教諭	若井美代子	退職
教諭	市下望	赤穂西小へ
(非常勤)	宮地未来	退職

【よろしくお願いします】

教諭	長崎ひな	新採用
(非常勤)	松原和子	他校兼務
(非常勤)	名村浩	他校兼務

有年小学校は「はばタン」の母校です。



(兵庫県マスコットキャラクター)
平成15年度に本校5年生の川端弓加里さんが名付けました。

校長として4年目を迎えました江尻裕亮と申します。教諭、教頭を通算すると本校勤務は11年目となります。教職38年目となる本年度、さらにリフレッシュしてスタートを切ります。

本校は、学校規模の良さを生かして児童一人一人にきめ細かく関わり、調和のとれた「生きる力」を育みます。この春から新しくなった教育課程を実施し、全教職員心一つに、保護者・地域の皆様からの信頼に応えてまいります。

* 新型コロナウイルス感染症防止のための取組は今後も継続します。また、休校のため生じた前学年の未履修事項については、新学年において確実に指導を行います。(卒業生は未履修事項がありません。)



ふるさとを愛する子に



本年度、有年小学校の教育目標は【ふるさとを愛し、夢をもって進んで学ぶ児童の育成】としました。

有年は、豊かな自然と深い歴史に育まれたすばらしい地域です。ここで育つ子供達には、人生の根っことしてまず「ふるさとを愛する子になってほしい」と願い、学校教育目標の冒頭に掲げました。

歴史的価値の高い「東有年沖田遺跡」をはじめ、有年小学校周辺には古代からの遺跡が多くあります。学校のある場所も「堂場ヶ市遺跡」という遺跡であったことがプール西側の標柱からわかります。この有年では早くも弥生時代から米作りが始まり、ムラができていたのです。

古墳時代には、この有年に大和朝廷と直接つながりのある有力な王が住んでいました。数年前に東有年で発見された前方後円墳「放亀山一号墳」がその証拠です。

一方、西有年の大避神社にまつられている秦河勝は、修学旅行の人気スポット「映画村」のある京都の太秦に住んでいた、飛鳥時代の人です。この人は聖徳太子の重臣で、太秦の地名は聖徳太子の「太」と秦河勝の「秦」からとったものだと言われています。

秦河勝は大化の改新で蘇我入鹿の難を逃れて赤穂の坂越にある生島に漂着しました。そして、その一族が有年に住み、治水を行い、米作りを進め、人々とともに豊かな実りあるこの土地を一生懸命に切り開いたといわれています。それで大避神社にまつられているのだそうです。

鎌倉・室町時代になると、有年の里を囲むように山城ができました。校歌に歌われている大鷹山には、「有年山城」があり、他の山城とともに四方から有年の里を守っていました。毎年6年生が卒業記念登山をしている大鷹山に砦のような山城があったのです。全校で遠足で行く東有年八幡神社が登山口になっています。(昨年度の卒業記念登山は臨時休業中のため中止となりました。)

江戸時代になると、東西の交通の大動脈として「西国街道」ができ、この道を人々が行きかいました。学校前の東西の道も「西国街道」の一部で、ここを参勤交代の大名行列が通りました。千種川にはまだ橋がなかったので、街道が千種川につきあたる東有年一～四番組には宿場町ができ、「有年宿」とよばれました。また、今の有年中学校のあたりを発着場所として「高瀬舟」が千種川を南北に行き交い、赤穂からの塩を運びました。その安全航行のために東有年八幡神社の境内に作られた灯台は、今も美しい姿で立っています。

このように、この有年という土地は、その時代時代を代表する人々の考え方や生活の仕方が息づいていた、歴史上の重要な場所なのです。時は移り、生活の姿は変わっても、よく働き、思いやりにあふれた有年の人々の心は今も脈々と受け継がれています。

このような「ふるさと有年」を大切に思う心をもって、子供達には変化の激しいグローバル社会を力強く生きていってほしいと願っています。

教職員の働き方改革（勤務時間適正化）について

兵庫県教育委員会では、教職員が慢性的なオーバーワークを解消し、心の通い合う教育活動を推進するために全県で勤務時間の適正化を進めており、本校もその推進校となっています。

本校では、子供達と向き合う時間を確保するために業務の効率化を進めています。勤務時間は8時から16時30分です。定時退勤日の水曜日には遅くとも17時30分までには退勤することとしています。

教職員が心身共に健康で、心にゆとりを持って笑顔で子供達と向き合えるよう、皆様のご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。



- * 有年小だより「こまどり」は、今年から地域版もカラーでお届けします。ホームページでもご覧いただけます。